

# 2015年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事録

日時：2016年2月29日（月） 15時00分～18時00分

場所：仙台管区気象台第3会議室（3階）

出席：長谷川、岩崎、境田、杉山、野村、渡辺、名越（以上理事）、白川（会計監査）、  
山崎、廣川、斎藤（以上幹事）（敬称略）

欠席：佐伯、児玉、岩尾（以上理事）（敬称略）

司会：渡辺理事

## 議題1. 第4回支部長会の議題「“秋季大会運営に関する” 関西支部の提言に対するコメント等」について

- ・第4回支部長会議（3月4日開催）に提出する東北支部としてのコメントを事務局（案）のとおり承認した。

その他以下の意見等が出された。

- ・アウトリーチとしてのシンポジウムを一番最初にやったのは仙台である。
- ・向川先生の主旨は、コンパクトにしたいとのことと感じている。
- ・シンポジウムを開催しない方が楽なのは間違いないが、気象学会は公益社団法人であるので、一般向けの活動を行うことは、その理念に適うものである。
- ・一般に向けて、社会への還元を訴えかけなければ、存在意義がなくなると考える。
- ・気象学会は会員の権利を認めるべきであり、学際的であるべき。また非学会員に、会員になってもらうような検討を行うべき。

## 議題2. 2015年度事業報告

- ・議案参照

その他以下の意見等が出された。

- ・支部気象講演会について、会場が良かった。ほかの会場は予約が取れないのが問題。
- ・プロジェクトが暗いと云う聴講者アンケートがあった。アンケート結果を取りまとめているので役員で共有する。
- ・サイエンスカフェについて、今年度は仙台管区気象台での開催で、気象台見学というのができてよかった。何年に一回は気象台で開催するのが良い。
- ・支部気象研究会について、計画していた学会員向け旅費補助は今回申し込みがなかった。遠方の大学等の参加がなかったのが一因と考えられる。旅費補助について早くから広報することで活用を促す。

- ・奨励賞推薦について、今年度の推薦はなし。
- ・支部だよりについて、今年度市内業者への外部発注により事務作業の負担軽減が図られた。

### 議題 3. 2015 年度会計報告

[支部一般会計]

- ・繰越額は 30 万円以内となっており望ましい。

[支部強化基金による活動会計]

- ・残金が出て本部に返金した。振込手数料は支部一般会計から支出した。

### 議題 4. 2015 年度会計監査報告

- ・議案を承認した。

### 議題 5. 2016 年度事業計画案

- ・議案参照

その他以下の意見等が出された。

- ・支部気象研究会について、今年度は仙台管区気象台調査研究会との合同発表会の形式で開催したが、参加した学生等も気象台の取り組む課題に興味を惹かれていたし、聴衆も増えて学生のモチベーションも上がったと考えている。
- ・支部気象研究会における旅費補助は今年度と同様の方針で進めることで了承され、早くから広報することで活用を促す方針が確認された。
- ・支部だよりについて、今年度市内業者への外部発注により事務作業の負担軽減が図られたことから、2016 年度も今年度と同様の方針で 2 回発行することとし、6～7 月ころに年度 1 回目の発行を予定することで了承された。
- ・他支部では支部だよりを電子化しているところもあり、今後検討する方針が確認された。
- ・サイエンスカフェについて、来年度も仙台市開催として日本気象予報士会東北支部と運営等の打合せを実施しお互い運営等について検討する方針が確認された。
- ・奨励賞推薦について、東北支部での推薦者を探したが今年度は候補無しとなった。対象は会員かどうか不問、普及啓発等を行う方も選考対象となるので、推薦に向けた情報があつたら共有をお願いしたい。
- ・事務局は第 29 期東北支部役員の任期満了に伴い、日本気象学会東北支部規則に基づいて第 30 期役員選挙に向けた準備を行う。
- ・気象講演会について、原則として各県「持ちまわり」で開催する方針、および会員等からの開催・運営の意向があつた場合など自由度を持って開催地を検討する方針が確認された。

- ・次年度、秋田県では秋田地方気象台の開催する気候講演会が行われることから、当初開催予定だった2016年秋田市と2017年盛岡市を入れ替えて開催することが確認された。今後は他イベントとの関係を考え、聴講者に配慮しながら開催を検討することとする。

#### 2016年度以降の開催県案

年度	開催県
2016年度	岩手県
2017年度	秋田県
2018年度	山形県
2019年度	青森県
2020年度	福島県
2021年度	宮城県

#### 議題6. 2016年度予算案

- ・議案参照

その他以下の意見等が出された。

- ・支部だよりの電子化を検討する。
- ・支部気象研究会における旅費補助を今年度は継続する。早くから広報することで活用を促す方針が確認された。
- ・サイエンスカフェの予算における日本予報士会東北支部の分担額について、予報士会東北支部と調整する。
- ・会員を増やすための検討を行う。

#### 議題7. その他

(1) 2018年度秋季大会の準備について

議案のとおり。

- ・異議なし

(2) 東北大学主催イベントの後援について

議案のとおり。

- ・異議なし

(3) 事務局から

議案のとおり。

- ・議案を承認した。
- ・事務局より、2018年仙台での秋季大会を視野に入れ、幹事体制強化のため増員する規則改正が提案された。準備委員会の立ち上げる前、気象学会全体での秋季大会のあり方の

議論をしている段階から参画することを想定している。

(4)支部長会議に際して

・支部長会議では、学会費値上げについて議論がある。これについてはどうか。

→学会員であることのメリットを求めるだろう。

→節約してでもやっていかなければならないと云う学会本部の姿勢が必要。

→会員の多様性を確保していかなければならないと考える。例えば大会セッションで「現業」を作れないか。理科の先生のためのセッションというのも良い。災害のセッションを立ち上げたい。

以上